

B3

METHOD FOR AUTOMATICALLY SELECTING TEMPLATE IN ELECTRONIC MAIL SYSTEM

Patent number: JP2000020421
Publication date: 2000-01-21
Inventor: SAKAGUCHI SHOKICHI
Applicant: HITACHI SOFTWARE ENG
Classification:
- **international:** G06F13/00; G06F17/21; H04L12/54; H04L12/58
- **european:**
Application number: JP19980185520 19980701
Priority number(s): JP19980185520 19980701

Abstract of JP2000020421

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce complicated electronic(E) mail transmission sentence template selecting work by selecting a template indicated by sort information as a template of an E mail destination when the number of sort information of a template stored for an inputted destination is only one. **SOLUTION:** When the sort information of plural templates for destinations is stored in a template group 11, a candidate list 9 for selecting one of plural templates indicated by the sort information is displayed. A template selection part 5 selects one of the templates in the list 9 as the template of an E mail destination 8. When the number 8 sort information of a template stored for an inputted E mail destination 8 is only one, the template indicated by the sort information is selected as the template of the destination 8.

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

THIS PAGE BLANK (USPTO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-20421

(P2000-20421A)

(43) 公開日 平成12年1月21日 (2000.1.21)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマート* (参考)
G 0 6 F 13/00	3 5 1	G 0 6 F 13/00	3 5 1 G 5 B 0 0 9
17/21		15/20	5 3 8 A 5 B 0 8 9
H 0 4 L 12/54		H 0 4 L 11/20	1 0 1 B 5 K 0 3 0
12/58			

審査請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 特願平10-185520

(22) 出願日 平成10年7月1日 (1998.7.1)

(71) 出願人 000233055

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

(72) 発明者 坂口 昭吉

神奈川県横浜市中区尾上町6丁目81番地

日立ソフトウェアエンジニアリング株式会
社内

(74) 代理人 100083552

弁理士 秋田 収喜

Fターム(参考) 5B009 ND01 TB03 VC02

5B089 AA20 AD11 AD12 AE01 CC17

CE04

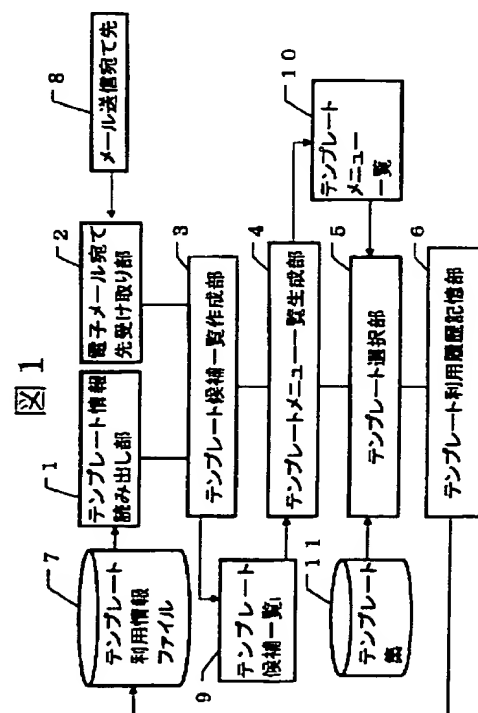
5K030 GA11 GA17 HA05 HB00 KA02

(54) 【発明の名称】 電子メールシステムにおけるテンプレート自動選択方法

(57) 【要約】

【課題】 煩雑な電子メール送信文テンプレートの選択作業を軽減すると共に、誤ったテンプレートを用いた電子メールの誤送信を防止すること。

【解決手段】 電子メール送信宛て先と利用するテンプレートの種類を対にした情報を格納したテンプレート利用情報ファイルを用意し、このテンプレート利用情報ファイルを読み出し、電子メール送信宛て先との比較を行うことにより、その電子メール送信宛て先に利用するであろうテンプレートを類推して選択する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータを用いて電子メールを送信する電子メールシステムにおいて、電子メールの宛て先情報と当該宛て先に対応するテンプレートの種類情報とを関連付けてテンプレート利用情報としてテンプレート利用情報ファイルに格納し、電子メールの送信宛て先の入力により、前記テンプレート利用情報ファイルに格納されたテンプレート利用情報を読み出し、入力された宛て先に該当する宛て先に関するテンプレートの種類情報が格納されているか否かを判定し、当該宛て先について複数のテンプレートの種類情報が格納されていれば、その種類情報で示される複数のテンプレートの1つを選択させるための候補一覧を表示し、その候補一覧中の1つのテンプレートの選択操作により、その選択されたテンプレートを電子メール宛て先のテンプレートとして選択し、入力された宛て先について格納されているテンプレートの種類情報が1つであれば、この種類情報で示されるテンプレートを電子メール宛て先のテンプレートとして選択することを特徴とする電子メールテンプレート自動選択方法。

【請求項2】 前記テンプレート利用情報に対して利用頻度の情報を付加し、電子メールの送信の都度、該利用頻度の情報を更新し、複数のテンプレートを利用頻度順に並べて表示することを特徴とする請求項1記載の電子メールテンプレート自動選択方法。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は、電子メールシステムの電子メールテンプレート自動選択方法に関し、特に、電子メールシステムにおいて送信用の電子メールを作成するためのテンプレートの選択を簡単に行える電子メールテンプレート自動選択方法に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 電子メールシステムにおける電子メールの送信内容には、通常の紙による連絡文書と同じように、送る相手や文書の内容（用件）により定型の文が数多く含まれている。

【0003】 多くの電子メールシステムでは、これら定型文をテンプレートファイルと呼ばれるファイルに格納させて、電子メール送信文作成時に、このテンプレートを選択し、定型の電子メール送信文書作成作業を軽減させる機能を用意している。

【0004】 電子メールシステム利用者は、この機能を利用して電子メールを送る相手や内容に応じて、必要なテンプレートを判断し選択していた。

【0005】 また、テンプレート機能を持つ多くの電子メールシステムでは、電子メール送信文の新規作成時において自動的に選択されるテンプレートを指定することができる。これにより、最も多く利用するテンプレートを自動選択されるように指定しておく、通常の電子メ

ールの送信文作成作業において、テンプレート選択の手間を省くことができた。

【0006】 また、テンプレートに関する自動化の技術として、特開平3-134764号公報（発明の名称：メニュー選択による定型文生成方式）が知られている。これは、定型文の生成を自動化するようにしたものである。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】 通常、電子メールシステムのテンプレート利用にあたっては、送り先毎にほぼ決まったテンプレートを選択することが多い。これは、定型文が送り先によって決まってくることが多いため、必然的にテンプレートが送り先毎に作成されることが多くなるためである。このため、決まりきった特定の相手に電子メールを送信する場合、従来の方法では、テンプレート選択作業が煩雑に感じるという問題がある。

【0008】 また、電子メールの新規送信文作成におけるテンプレート自動選択を指定しておく、誤ったテンプレートのまま電子メールを送信してしまうという問題がある。

【0009】 本発明の目的は、煩雑な電子メール送信文テンプレートの選択作業を軽減すると共に、誤ったテンプレートを用いた電子メールの誤送信を防止することができる電子メールシステムにおけるテンプレート自動選択方法を提供することにある。

【0010】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために、本発明は、電子メールの宛て先情報と当該宛て先に対応するテンプレートの種類情報とを関連付けてテンプレート利用情報としてテンプレート利用情報ファイルに格納し、電子メールの送信宛て先の入力により、前記テンプレート利用情報ファイルに格納されたテンプレート利用情報を読み出し、入力された宛て先に該当する宛て先に関するテンプレートの種類情報が格納されているか否かを判定し、当該宛て先について複数のテンプレートの種類情報が格納されていれば、その種類情報で示される複数のテンプレートの1つを選択させるための候補一覧を表示し、その候補一覧中の1つのテンプレートの選択操作により、その選択されたテンプレートを電子メール宛て先のテンプレートとして選択し、入力された宛て先について格納されているテンプレートの種類情報が1つであれば、この種類情報で示されるテンプレートを電子メール宛て先のテンプレートとして選択することを特徴とする。

【0011】

【発明の実施の形態】 以下、本発明を実施する場合の一形態を図面を参照して具体的に説明する。図1は、本発明によるテンプレート自動選択方法の一実施の形態を示す機能構成ブロック図である。本実施形態のテンプレート自動選択方法は、パーソナルコンピュータ等のコンピ

ユータを用いて実施されるものであり、図1に示すような機能要素で実現される。これらの機能要素は、基本的には同機能のプログラムによって実現される。

【0012】図1の機能要素は、テンプレートの利用状況を一元管理するためのテンプレート利用情報ファイル7を読み出すテンプレート情報読み出し部1、キーボード等から入力された電子メール送信宛て先8を受け取る電子メール宛て先受け取り部2、テンプレート候補一覧9を作成するテンプレート候補一覧作成部3、テンプレートメニュー一覧10を作成するテンプレートメニュー一覧生成部4、テンプレート集11からテンプレートを取り出すテンプレート選択部5、テンプレート選択履歴を記憶するテンプレート利用履歴記憶部6から構成される。

【0013】図2は、テンプレート利用情報ファイル7の例を示すものであり、宛て先71は、テンプレートを利用したときの電子メールの送信先を特定する情報を示している。テンプレート72は、宛て先別に対応付けられたテンプレートの種類を示す名称であり、過去に使用したテンプレートまたはこれから使用するテンプレートを物理的に特定する情報を示している。利用頻度73は、そのテンプレートを利用した回数を示しており、当該テンプレートを使用する都度、利用頻度73の値が「1」ずつ更新される。

【0014】図3は、テンプレート候補一覧9の例を示している。日本語名称91は、テンプレートの内容を簡単に説明したものであり、テンプレートメニュー一覧10で利用される。テンプレート92は、テンプレート利用情報ファイル7のテンプレート72と同一内容である。

【0015】図4は、テンプレートメニュー一覧10の例を示している。この例では、テンプレートの日本語名称一覧101とテンプレート選択を指示するボタン102とから構成している。利用者は、テンプレート日本語名称一覧101から利用したいテンプレートをマウスカーソル104によって選択し、選択ボタン102で確定する。もし、テンプレートの利用を取りやめたいときは、キャンセルボタン103を操作して取り消す。なお、図4では、同一の宛て先について、社内用、通達、報告書という3つのテンプレートが存在することを示している。

【0016】図5は、テンプレート集11の例を示している。テンプレート集11は、複数のテンプレートから構成されていて、各テンプレート毎に定型文が収められている。ここでは、特に言及していないが、テンプレートを1ファイルとし、各テンプレートファイルを1つのディレクトリに収め、そのディレクトリをテンプレート集として扱うと実現が容易である。

【0017】図6は、利用者が入力した電子メールの宛て先情報により、当該宛て先に使用するテンプレートを

決定する処理の流れを示すフローチャートである。まず、テンプレート利用情報ファイル7からテンプレート利用情報を読み込む（ステップ12）。次に、利用者がキーボード等から入力した電子メール送信宛て先8を読み出す（ステップ13）。この際、電子メール送信宛て先8がテンプレート利用情報ファイル7の宛て先情報に含まれていれば、テンプレート候補一覧9にテンプレート情報を利用頻度と共に追加記憶する（ステップ14、15、16）。候補が複数ある場合は、テンプレート候補一覧9中のテンプレートを利用頻度の高い順に並べ替え、図4に示したようなテンプレートメニュー一覧10を作成してコンピュータディスプレイに表示し、利用者からの選択を待つ（ステップ17、18）。そして、利用者が選択したテンプレートを最終的に選択する（ステップ19）。しかし、候補が1件しかない場合は、自動的にそのテンプレートを選択する（ステップ17、19）。最後に、テンプレートの選択情報をテンプレート利用履歴記憶部6に記憶させた後、テンプレート利用情報ファイル7を更新する（ステップ20）。

【0018】ここで、利用者がテンプレート利用情報ファイル7になかった新たなテンプレートを使用した場合には、このテンプレートが新規テンプレートとして追加される。そして、その場合の利用頻度73の値は「1」に設定される。また、既に存在したテンプレートを使用した場合には、その利用頻度73の値が「+1」される。なお、テンプレート利用情報ファイル7におけるテンプレート72等の情報は、電子メールの送信前に複数の宛て先に関するものを予め格納しておいてもよいし、電子メールを送信する都度、格納する方法のいずれであってもよい。

【0019】次に、利用者がメールを送信する場合について、具体例を用いて、利用者の操作と、電子メールシステムの処理について説明する。一般的に、電子メール文書の作成及び送信作業では、電子メールシステムの新規電子メール文書作成機能を利用して、電子メールの送信宛て先、送信文書のタイトル、送信文を入力し、電子メールを送信する。本発明は、この電子メール作成作業において、電子メールの送信宛て先の入力完了すると、自動的に図6に示す処理を実行する。ステップ13によって、先に入力された電子メール宛て先を読み込み、これをもとに利用テンプレートを類推する。類推したテンプレートが1つしかない場合は、ステップ19によって、送信文に類推したテンプレートを選択表示する。類推したテンプレートが複数ある場合は、ステップ18によって、図4に示すダイアログ（テンプレートメニュー一覧10）を表示し、利用者にテンプレートを選択させる機会を与える。利用者によって、テンプレートが選択されたならば、ステップ19によって、利用者によって選択されたテンプレートを送信文に表示する。利用者は、この送信文に表示されたテンプレートを適宜修

正し、完成した文書を電子メールシステムの機能を使って送信する。

【0020】なお、利用者が入力した宛て先について、類似する複数の宛て先のテンプレートが存在した場合は、宛て先自体を再確認させる画面を表示し、宛て先が確認された段階でテンプレートの候補を表示するようにすれば、宛て先の間違いとテンプレートの間違いの両方を防止することができる。

【0021】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、電子メール送信宛て先と利用するテンプレートの種類を対にした情報を格納したテンプレート利用情報ファイルを用意し、電子メール宛て先が入力されたならば、このテンプレート利用情報ファイルを読み出し、電子メール送信宛て先との比較を行うことにより、その電子メール送信宛て先に利用するであろうテンプレートを類推して表示し、利用者に最終選択させるようにしたため、それぞれの宛て先に対するテンプレートを選択する際の煩雑な作業を軽減することができる。また、このような機械的な処理により誤ったテンプレートを用いた電子メール

の誤送信を防止することもできるなどの効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明によるテンプレート自動選択方法の一実施の形態の構成を示す機能構成ブロック図である。

【図2】テンプレート利用情報ファイルの例を示す図である。

【図3】テンプレート候補一覧の例を示す図である。

【図4】テンプレートメニュー一覧の例を示す図である。

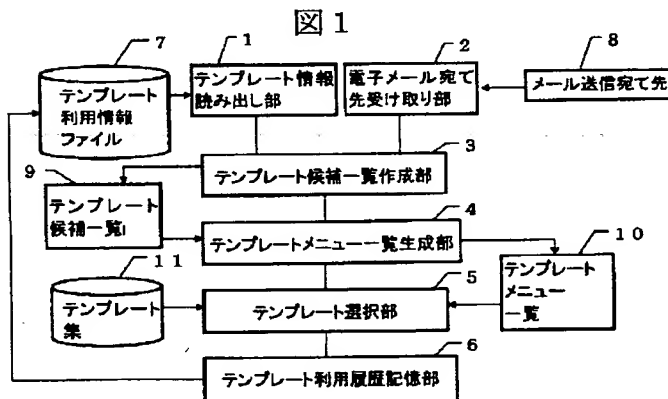
【図5】テンプレート集の例を示す図である。

【図6】メール送信先を基にテンプレートを類推して選択する処理の流れを示すフローチャートである。

【符号の説明】

1…テンプレート情報読み出し部、2…電子メール宛て先受け取り部、3…テンプレート候補一覧作成部、4…テンプレートメニュー一覧生成部、5…テンプレート選択部、6…テンプレート利用履歴記憶部、7…テンプレート利用情報ファイル、8…メール送信宛て先、9…テンプレート候補一覧、10…テンプレートメニュー一覧、11…テンプレート集。

【図1】



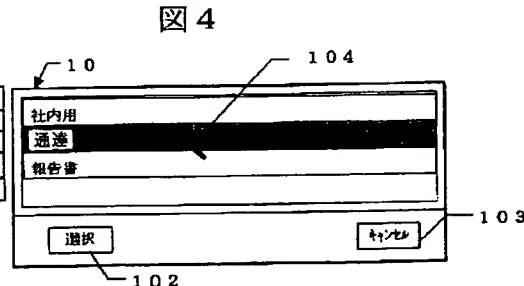
【図2】

宛て先	テンプレート	利用頻度
xxx@yyy.co.jp	xxx.tmpl	5
yyy@zzz.or.jp	yyy.tmpl	0
aaa.ac.jp	aaa.tmpl	2
aaa.ac.jp	aaa2.tmpl	0
zzzzz	zzzzz.tmpl	20

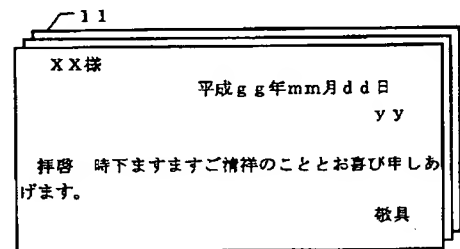
【図3】

日本語名称	テンプレート
社外用 (一般)	xxx.tmpl
社内用	zzzzz.tmpl
通達	aaa.tmpl
報告書	bbb.tmpl

【図4】

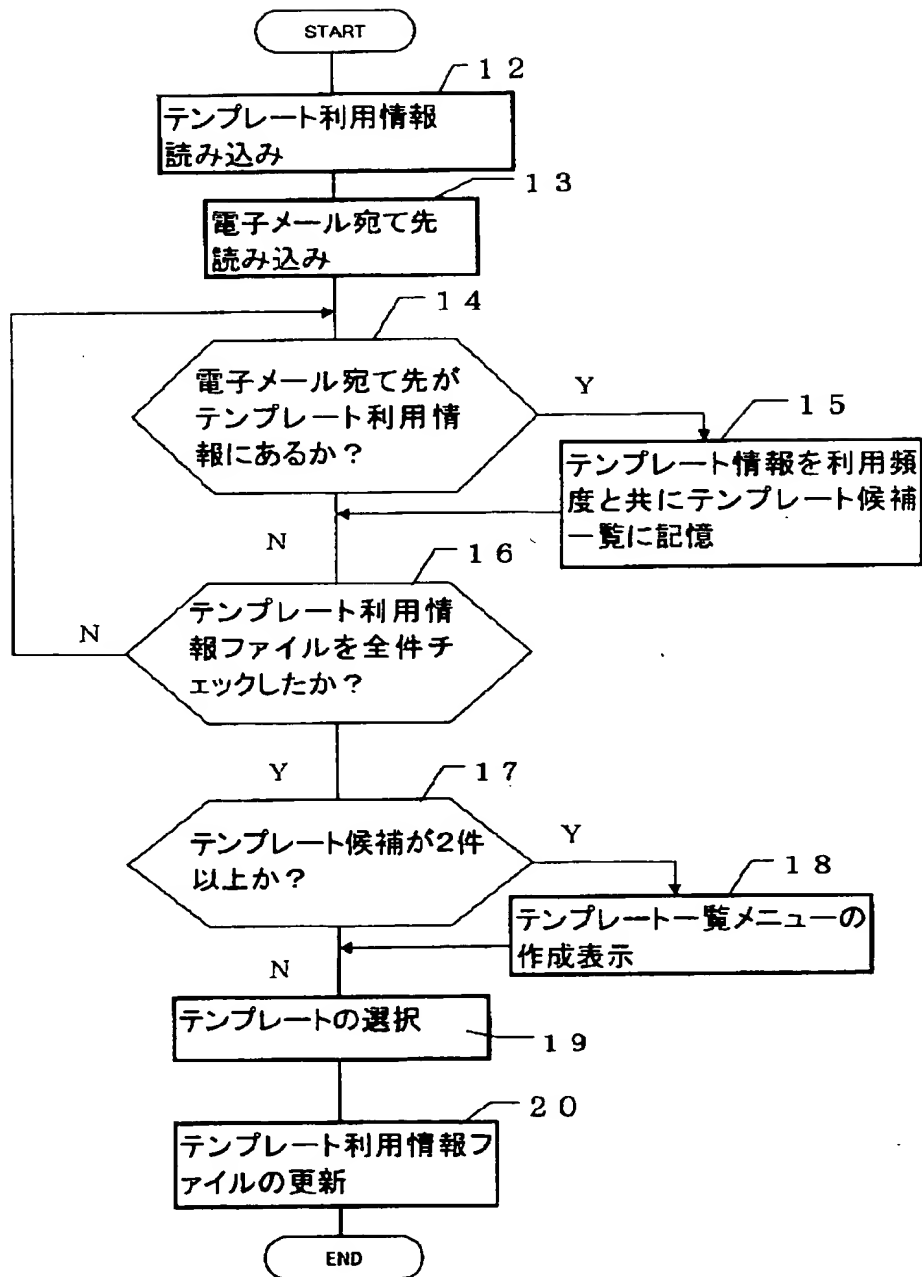


【図5】



【図6】

図 6



THIS PAGE BLANK (USPTO)

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.

THIS PAGE BLANK (USPTO)